

鹿児島県奄美パーク 事業報告書

2011 Leaf



目 次

I鹿児島県奄美パーク概要・・・・・・・・・・・・・・・・4

II平成23年度の事業実績について・・・・・・・・・・5

III奄美の郷企画事業・・・・・・・・・・・・・・・・6

1季節感(年中行事)を取り入れたイベントの開催

(1)あまみっ子フェスタ(2)奄美パークわらべ島唄大会(3)ネリヤカナヤフェスタ

(4)サマーコンサート(5)フユウンメコンサート(6)初春唄あしび

(7)奄美パーク春まつり ～シマジマだより～(8)奄美パーク春まつり ～サンガツサンチ～

2奄美の郷ライブステージ

(1)5月「でい・まーじんま！！第6弾」

(2)6月「汝きや我きや島唄しょーろ～」

(3)9月「南風にゆらおう」

(4)11月「伝えよう伝統文化 かさん唄と八月踊り」

(5)2月「スプリングコンサート」

3開園10周年記念イベント

(1)ライブステージ(2)ボクネンズ・アートトーク(3)記念式典・講演会(4)狂言会

(5)新春寄席

4その他の自主・共催事業

(1)けんむんクイズラリー(2)第1回奄美ケンムンふえすた

(3)文化のちびっ子体験会(4)奄美パーク子どもクリスマス会

(5)奄美パーク クリスマスコンサート

IV田中一村記念美術館企画事業・・・・・・・・・・16

1奄美関係作家展

(1)「奄美を描く美術展」歴代受賞作品展(2)県美展奄美関連作家展

(3)久保井博彦展(4)三人の教員展

2田中一村記念スケッチコンクール作品展

3開館10周年記念特別企画展 ボクネン木版画展「風の島から」

4第10回記念奄美を描く美術展

5第10回記念奄美を描く美術展 巡回展

6その他企画展

(1)奄美フォトクラブ会員展(2)Sixth sense 主体美術協会会員による絵画展

(3)奄美市笠利地区小・中学校図画工作・美術学習発表展(4)第3回大高芸術祭

7その他

(1)夏休み親子スケッチ大会(2)夏休み親子ワークショップ

(3)創作体験教室（人物画講座Ⅰ）(4)創作体験教室（人物画講座Ⅱ）

V各種イベントポスター・・・・・・・・・・・・・・・・25

VI奄美パーク応援隊について・・・・・・・・・・29

I 鹿児島県奄美パーク概要

1 施設の目的

鹿児島県奄美パークは、奄美の美しい自然や多様な文化・歴史をわかりやすく紹介した総合展示ホールや奄美シアター、人々の交流の場を提供するイベント広場からなる「奄美の郷」と、奄美の自然を描き集大成させた孤高の日本画家「田中一村」の作品を紹介する「田中一村記念美術館」の二つの施設を中核とする奄美群島全体の新たな観光拠点として、笠利町節田の旧奄美空港跡地に建設された。

2 設置者 鹿児島県

3 開園年月日 平成13年9月30日

4 指定管理者 奄美群島広域事務組合

5 園長兼館長 宮崎 緑（千葉商科大学政策情報学部長，NHK「NC9」初の女性ニュースキャスター）

6 園地面積 約77,000㎡

7 総事業費 約78億円

8 施設の概要

(1)奄美の郷（延べ床面積約3,200㎡）

白い貝殻をイメージした外観。建物内の梁などは、琉球松の大断面集成材でソテツの葉をイメージした造形。

○総合展示ホール，奄美シアター（有料）

○アイランドインフォメーション，イベント広場，レストラン，売店

(2)田中一村記念美術館（延べ床面積約2,490㎡）

奄美の海をイメージした池に3棟の高倉が浮かぶ設計。床はイタジイを使用。

○常設展示室，特別展示室（有料）

○企画展示室，ガイドンス室，図書資料室，喫茶・ミュージアムショップ

(3)一村の杜（面積7,000㎡，平成19年7月20日完成）

6つのスポットで構成されている遊歩道。田中一村の奄美での作品に描かれている草木を植栽。それぞれのスポットで作品に描かれている風景を鑑賞。

(4)その他の施設

○多目的広場（約3,780㎡），野外ステージ，展望台，駐車場（約240台）

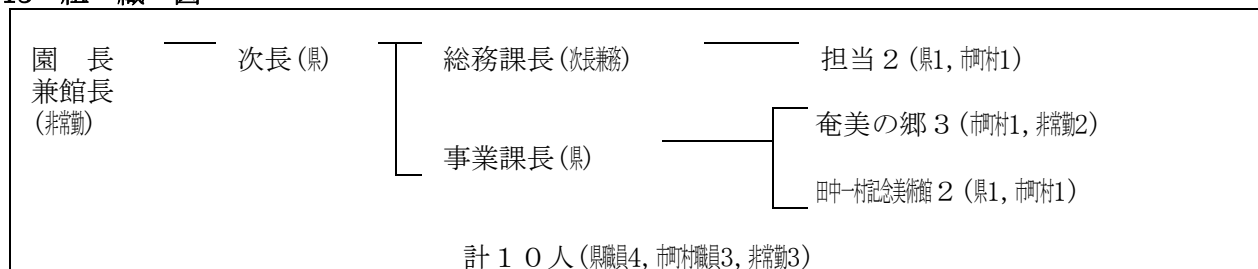
9 観覧料金 共通観覧料：一般600円（20人以上の団体は480円）
高・大学生400円（同320円）
小・中学生300円（同240円）

10 休園日 毎月第1，第3水曜日（祝日の場合は翌日）
（4/29～5/5，7/21～8/31，12/30～1/3は開園）

11 開園時間 9：00～18：00（7月，8月は19：00まで）

12 入園者数 平成24年3月末現在 延べ1，629千人

13 組織図



Ⅱ 平成23年度の事業実績について

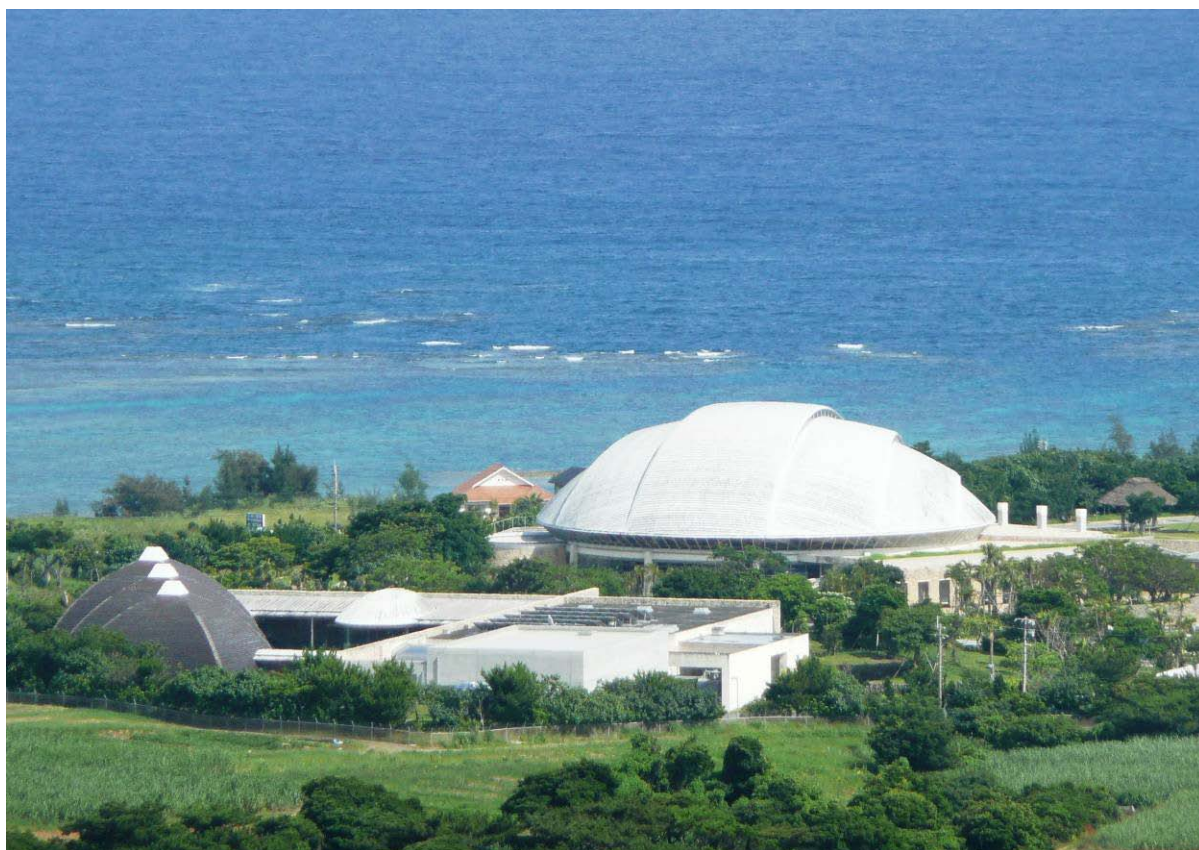
「奄美パーク」は、奄美群島の観光拠点の一つとして、また、奄美群島に居住する方の交流等を目的に、奄美の自然、歴史、多様な文化を紹介する「奄美の郷」と奄美の自然を描き集大成させた孤高の画家「田中一村」の作品を紹介する「田中一村記念美術館」を中核に平成13年にオープンしました。平成24年3月末現在、約163万人の入館者があり、今年度はおかげ様で開園10周年を迎えることができました。

「奄美の郷」では、主に「イベント広場」でシマ唄、伝統芸能、踊り等で構成するイベントを開催し、「田中一村記念美術館」では常設展示の他、「企画展示室」において奄美関係作家展、奄美を描く美術展、創作体験教室などを開催しています。

特に23年度は開園10周年記念事業として、池上彰氏による記念講演、野村万蔵氏らによる狂言会、ライブステージ、名嘉睦稔氏によるアートトーク、新春寄席、グラウンドゴルフ大会等を実施いたしました。また、田中一村記念美術館においては、10周年特別企画展としてボクネン木版画展「風の島から」と題して、沖縄の自然や風景をテーマにした作品を展示し、多くの方々に観覧していただきました。

これらの事業の実施により、奄美の多様な文化や自然等の魅力を観光客に紹介するとともに地元の方々の交流も図りました。

平成24年度以降も、地元の皆様とともに歩いていく奄美パークを目指し、皆様からの助言や力添えをいただきながら事業を展開していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



Ⅲ 奄美の郷企画事業

1 季節感（年中行事）を取り入れたイベントの開催

（１）あまみっ子フェスタ

日時：平成23年5月4日（水）13:30～16:00

場所：イベント広場 参加者数：約510名

内容：子どもの日にちなみ、子ども達を対象にしたイベントを開催した。

最初に皆既日食にちなんだアニメ「銀河鉄道999」を上映し、宮崎園長の挨拶があり、その後、お笑い大道芸の「ハンガ〜マン」によるショーでは大型の一輪車に乗ってジャグリングを行ったり、ハンガーを使い、不安定な台の上に乗って様々な芸を巧みに行ったりと、面白おかしくパフォーマンスショーを実施し、参加者の笑いを誘い大いに盛り上がった。

また、イベント広場後方では奄美手熟師会による竹とんぼ、竹笛づくりやハイビスカスの染色体験、ソテツの実に色を塗ってキーホルダーなどをつくる親子手作り教室や奄美市レクリエーション協会による風車、バルーンアート、紙トンボづくり、昔の遊び（お手玉、コマなど）のレクリエーションなど様々なワークショップが催され、親子連れや友人同士で、楽しく製作や遊びを体験していた。

その後、大島養護学校の先生方によるサークル「ぱすてる」のうたあそびが行われ、参加した子ども達も一緒になって音楽に合わせて身体を動かした。閉会后、出会いの広場に場所を移し、緑化フェアにちなんで、マンゴーの苗の記念植樹を行った。



（２）奄美パークわらべ島唄大会

日時：平成23年5月5日（木）10:00～15:00

場所：イベント広場 参加者数：287名

内容：奄美の将来を担う子供（あまみっ子）たちが、シマ唄を通じて奄美固有の伝統文化への理解を深めるとともに技法を学び、シマ唄文化を広く後世に伝える目的で開催した。

オープニングは審査対象外の4名の保育園児達が盛り上げた。

また、ゲストには平成22年度わらべ島唄大会優勝者3名（飯田秋・楠田莉子・平田まりな）の他、全国大会優勝者の住姫乃、里歩寿によるシマ唄もあり来園者は楽しんでいった。

小学校低学年の部に8名、小学校高学年の部に15名、中学生の部に13名が参加し、それぞれ優勝を目指し、師から学んでいるシマ唄を熱唱した。

表彰式では、部門ごとの優勝・準優勝・三位の受賞者に、宮崎園長から賞状と記念品が授与され、また、審査員奨励賞として、部門ごとに1名ずつ記念品が授与され、最後に審査員やゲストと一緒に記念写真を撮影した。



(3) ネリヤカナヤフェスタ

ア オープニングイベント

日時：平成23年7月17日（日）13:30～15:30

場所：イベント広場 参加者数：約373名

内容：奄美市立伊津部小学校さざ波バンドが大切に代々引き継いでいるオリジナル曲「島のひびき」で始まり、アフリカの太鼓を踊りを交えて笠利ジャンベクラブが演奏、フラカオスタジオによるバラエティ豊かなフラダンス、奄美パークわらべシマ唄大会歴代受賞者の楠田莉子さん、住姫乃さん、平田まりなさんによるシマ唄で来場者を盛り上げた。



イ 展示関係

期間：平成23年7月17日（日）～8月31日（水）

場所：アイランドインフォメーション周辺、シアター前

内容：プロダイバー原英之氏による写真展「自然の力～豪雨災害を越えて」は、原氏のコメントが入った住用町西仲間の豪雨災害時、豪雨災害前後の和瀬海岸の海中の様子やタンギョの滝の様子、マングローブや大浜海岸・白浜海岸の景色など、様々な写真を展示。生き物や植物の名前を当てるクイズもあり、来園者は足を止め熱心に見入っていた。



ダイビング&カヌー珊瑚茶屋による奄美の海中映像、ダイビング器材の展示では器材を手に取りながら映像を見ていた。

奄美海洋展示館による展示「鯨の骨」や「貝細工」、笠利町住人による「夜光貝」の展示など、それぞれを興味深げに見学していた。



期間中の来園者数：10,583名

ウ 関連イベント

親子手作り教室～ハワイアンシュシュ～

日時：平成23年7月23日（土）13:30～15:30

場所：レクチャールーム 参加者数：27名

内容：龍郷町在住の岩田幸子氏を講師に親子手作り教室～ハワイアンシュシュ～を開催した。参加者の最年少は4才から、親子に限らず祖母・孫や、成人女性のお友達同士など計27名が参加した。好きな柄の布を選び、針とミシン糸を使って手縫いでシュシュを作り、全員が完成させることが出来た。中には3個完成させる方もいた。



基本のシュシュの他に、布の中に5種類のドライハーブをブレンドしたものを詰めたシュシュも作った。



(4) サマーコンサート

日時：平成23年8月14日（日）13:30～15:50

場所：イベント広場 参加者数：約180名

内容：多くの観光客を迎えるこの時期に島の文化や芸能を島内外に紹介するイベントとしてサマーコンサートを行った。出演は男声四部合唱のオットンメンタルハーモニー、シマウタのヒギヤ唄いのしし会、新民謡の奄美芸能七色会の3団体で、オットンメンタルハーモニーは美しいハーモニーの中にも、時にはユニークな演出で観客を楽しませた。ヒギヤ唄いのしし会は全員が昭和10年生まれてシマウタが大好きな人達が集まった会だけあって、普段聞くことのできない唄を披露していただいた。奄美芸能七色会は、奄美を題材にした新民謡で自慢ののどを披露していただいた。最後はヒギヤ唄いのしし会の方の六調で沢山の方が踊りを楽しんで締めくくった。



(5) フュウンメコンサート

日時：平成23年12月11日（日）13:30～15:30

場所：イベント広場 参加者数：約200名

内容：今回は当園のイベントで聞く機会の多い島唄や三味線などは除き、その他の様々な楽器の演奏を中心に企画・構成した。

最初に瀬戸内町の小・中学生で構成されるジュニアホノホシ太鼓による和太鼓演奏でオープニングを飾り、続いて奄美小学校ビューグルバンドによる華やかなマーチングバンド演奏で観客を感動させ、続いて、坂上陽美&友香さんご夫妻により、自ら作詞作曲したオリジナル曲やバラード曲をギターの弾き語りのにのせて披露し、続いて5人組のアカペラグループ、ザ・カップラーズにより様々な洋楽曲を豊かなハーモニーのアカペラ歌唱で披露し、観客を魅了した。

最後は瀬戸内町役場職員4人で構成するおやじバンド「熱帯紅血圧」の演奏が披露され、加計呂麻やハブを題材に歌ったオリジナル曲などを演奏した。



（６）初春唄あしび

日時：平成24年1月3日（火）13:00～17:20

場所：イベント広場 参加者数：約370名

内容：正月休みを利用して奄美を訪れる観光客や帰省客に、奄美の文化に触れていただこうと坪山豊さんの企画による新春恒例の唄あしびとあわせ、今回初の試みとして一般参加者による新春演芸大会を開催した。

一条流紫寿音会の奥田佳江子代表による祝舞で始まり、同会会員による日本舞踊、柳清会本流琉舞道場による琉球舞踊や昇三味線・島唄教室によるシマ唄、山元俊治さん・平早代美さん・山元眞琴さん・久保田詩織さん那奈さん姉妹・坪山世名くん・皆吉佐代子さんらのシマ唄がかわるがわるに披露され、来場者を楽しませた。そして節田マンカイ保存会による「正月マンカイ」で新年を華やかに祝い、出演者と来場者で六調を踊り、会場は大いに盛り上がった。

また、新春演芸大会は10組の出演があり、ダンスや歌、楽器演奏など各人が持つ多種多様な特技が披露された。その中で、来場者に最も良かったものを投票していただいた結果、最優秀賞はピアノの弾き語りで昭和の歌謡曲メドレーを披露した安大智くん、優秀賞はストリートダンスを披露したB→Matonds（ビーメイトンズ）が受賞した。例年よりも多彩な内容のイベントとなった。



（７）奄美パーク春まつり ～シマジマだより～

日時：平成24年2月5日（日）13:30～15:30

場所：イベント広場 参加者数：約263名

内容：奄美群島の各島々の伝統芸能のシマ唄や地域で活動する団体を紹介するとともに、奄美の物産の購買促進のため大島本島地区農林産物直売所等による「みしょーれバザー」を行った。

ステージでは、サーモン&ガーリックによる島唄漫談、はまだゆかりさんによる歌、龍南中学校吹奏楽部による器楽演奏、安田民謡教室による島唄が披露され、盛り上がった。

会場には大勢の来場者があり、特産物の買い物や、ステージをゆっくりと楽しんでいた。



(8) 奄美パーク春まつり ～サンガツサンチ～

日時：平成24年3月4日（日）13:30～15:30

場所：イベント広場 参加者数：約390名

内容： 桃の節句にちなみ、女性のみ出演者によるイベントを開催し、あわせて女性対象の紬の小物販売や女性起業家などによる「ひなまつりバザー」を同時開催した。

ステージは、沢井箏曲院による琴演奏のオープニング、藤扇流奄美本部による日本舞踊、HULAーみんごによるフラダンスは2部構成で実施。ヤマハ音楽教室による器楽演奏、楠田莉子さんによる島唄と多彩で華やかなステージとなり、多くの来場者が楽しんでいた。



2 奄美の郷ライブステージ

(1) 5月ライブステージ（でい・まーじんま！！第6弾）

日時：平成23年5月22日（日）13:30～15:50

場所：イベント広場 参加者数：約368名

内容： 今年で6回目となる「島んちゅ会」によるライブステージ「でい・まーじんま！！（さあ、一緒に）第6弾」を開催した。シマ唄、日舞、三線合奏、天草・六調など盛りだくさんの催し物で来場者を楽しませた。今年は新たに琉舞がプログラムに加わり、よりバラエティに富んだ内容となった。指笛や踊りなどで会場を盛り上げるお客様も多く、「でい・まーじんま！！」の名前通り会場の人達が一体となって楽しんだ。



(2) 6月ライブステージ（汝きや我きや島唄しよーろ～）

日時：平成23年6月19日（日）13:30～15:30

場所：イベント広場 参加者数：約210名

内容： 龍郷町島唄保存会による恒例のライブステージを開催した。当園では2005年度から始まり、今年で7回目を迎えた。

長朝花節の他、合計13曲の島唄が出演者同士で唄者・三線・ハヤシと役割を交代しながらたつぷりと披露され、聴く者を魅了した。

また合間には玉城流の琉球舞踊や「いきゅうにや加那」を子どもの唄者と参加者との掛け合いで唄ったり、最後は出演者と参加者が一緒になり、島のブルースの輪踊りや六調を踊って楽しむなど、まさにサブタイトルの「汝きや我きや島唄しよーろ～」（あなた方と私達で島唄を唄いましょう）の通り、皆で参加して楽しめるイベントとなった。



(3) 9月ライブステージ（南風にゆらおう）

日時：平成23年9月19日（月）13:30～15:30

場所：イベント広場 参加者数：約596名

内容：「玉城流 琉扇會 山元孝子琉舞道場」による～南風にゆらおう～
台風15号の影響により、一時は中止の懸念もあった中、ライブステージを開催した。琉球舞踊（二部構成）、築地俊造さんの島唄、大島高等学校新体操部による新体操など盛りだくさんの催し物に昨年を上回る来場者が楽しんだ。来場者のほとんどが、最初から最後までステージに釘付けだった。最後に、「マル・マル・モリ・モリ！！」の曲を琉舞道場の子供達を中心となって踊り、賑やかでほのぼのとしたフィナーレでステージは大いに盛り上がった。



(4) 11月ライブステージ（伝えよう伝統文化 かさん唄と八月踊り）

日時：平成23年11月20日（日）13:30～15:40

場所：イベント広場 参加者数：188名

内容：日本民謡協会北大島会の会員による「かさん唄」の披露とあらしやげ会の八月踊りを中心にイベントを開催した。子どもから大人までの27名が自慢ののどを披露した。中でも大笠利集落で唄われているという「夕飯かでい」は上がる日ぬ春加那に別の歌詞をつけたもので、なかなか聞くことのできない珍しい曲を聴くことができた。

また、会長の築地俊造さんは自作の「兄弟くわ」を披露しユニークな歌詞で会場を沸かせた。

また、シマ興しと伝統文化を継承する目的で若い人々で結成されたあらしやげ会は八月踊りと六調を披露した。最後の六調では多くの観客も一緒に踊りを楽しんでいた。



(5) 2月ライブステージ（スプリングコンサート）

日時：平成24年2月19日（日）13:30～15:30

場所：イベント広場 参加者数：約142名

内容：アマービレ吹奏楽団によるアニメの挿入曲や奄美の新民謡などの演奏と、ロイヤルフラ仲山教室による華やかな衣装と南国のムードあふれるフラダンス、そして安大智君のピアノの弾き語りによるムード歌謡などで構成した「スプリングコンサート」を開催した。

アマービレ吹奏楽団と安大智君のコラボレーションもあり会場は盛り上がった。



3 開園10周年記念イベント

(1) 開園10周年記念ライブステージ

日時：平成23年10月8日（土）10:00～11:50

場所：イベント広場 参加者数：約150名

内容： 開園10周年を記念して龍郷町ナツメロ同好会によるライブステージを開催した。昭和の歌を愛好する会員30名が集い、昭和の名曲24曲を歌や踊り、生演奏により、それぞれが独自のパフォーマンスを交えて約100分間のステージを披露し、観客を魅了した。また、最後には奄美パーク応援隊による六調三線の演奏もあり、開園10周年記念イベントの幕開けに華を添えた。



(2) ボクネンズ・アートトーク

日時：平成23年10月8日（土）13:30～15:00

場所：イベント広場 参加者数：約120名

内容： 田中一村記念美術館開館10周年記念特別企画展のオープニングイベントとして開催したボクネンズ・アートトークに先立ち、玉城流琉扇會 山元孝子琉舞道場の9名が四ッ竹、谷茶前、黒島口説の3曲を披露した。会場には子どもからお年寄りまで多くの方々が訪れ、色鮮やかな琉球柄の衣装を身にまとい、艶やかに歌い踊る踊り手の姿に皆、心を奪われていた。

その後、作家名嘉睦稔氏を招き「ボクネンズ・アートトーク」を開催した。ボクネン氏は沖縄県伊是名島出身の木版画家で独学で木版画を始め、沖縄の自然などをテーマにした作品を多く制作している。

ボクネン氏は龍村仁監督のドキュメンタリー映画「地球交響曲第四番」に出演しており、その映画の一場面を舞台上の大型スクリーンに映しながら、当美術館の学芸専門員である堀脇と対話形式でアートトークが進められた。

始めにボクネン氏は「伊是名島と奄美がとても似ていて驚いた。やはり沖縄と奄美は兄弟島である」と奄美に降り立った印象を語った。その後、作品制作時の様子や伊是名島の風景など、スクリーンに映し出された映画の場面に対して、自分の思いや考えていることなどを詳しく説明した。また、「絵はどこにでもあるもの。自分はその一部をいただいている」とこれまでに制作した作品についても独特の感性で表現した。

さらに、終盤には田中一村についてもふれ、「制作スタイルは私と全く違うが、表現しようとするものは同じだと今回原画を見て改めてわかった。一村の作品と私の作品を見比べて、共通するものを皆さんに感じてほしい」と語った。

ボクネン氏を昔から知っているファンや、沖縄出身者等、会場を訪れた観客は真剣な眼差しで、ボクネン氏が話す言葉ひとつひとつに耳を傾けていた。



(3) 開園10周年記念式典，講演会

日時：平成23年10月9日（日）13:15～16:00

場所：イベント広場 参加者数：約860名

内容： 奄美パークが今年9月30日に開園10周年を迎えたことを記念し、県内外の観光客や地元の方々と当園の10周年を盛大に祝うとともに、今後の発展を祈念することを目的として、これまでに当園の設立ならびに運営にご尽力いただいた皆様を招待し、本事業を実施した。

奄美高等学校郷土芸能部「太陽の子（ていだぬふあ）」による優雅な太鼓演奏のオープニングで幕を開け、記念式典では、鹿児島県知事（代理）、奄美群島広域事務組合管理者（奄美市長）の挨拶、鹿児島県議会議長、奄美群島市町村会会長（代理）の祝辞、最後に園長からお礼の挨拶を行った。

記念式典の後に、現在フリージャーナリストとして多方面で活躍されている池上彰氏による「日本の復興を歴史から考える」と題した記念講演会が開催され、自身の体験や経験等をもとにこれからの日本の復興の在り方について解説を加えながら語られ、大変分かりやすい内容の講演であった。

記念講演会の後には、築地俊造氏による島唄の披露があり、参加されたお客様とともに六調を踊って締めくくった。

そして最後には、これまでの奄美パークのあしあとを綴った「奄美パーク10年の歩み」を上映し、会場の皆様とともにこれまでの当園の軌跡を振り返った。イベント広場は招待者をはじめとして、多数のお客様で埋め尽くされ、大盛況であった。



(4) 狂言会

日時：平成23年10月30日（日）15:30～17:30

場所：イベント広場 参加者数：約433名

内容： 開園10周年を記念して、普段奄美では触れることのできない伝統芸能に親しんでいただくために野村万蔵さん率いる萬狂言による「狂言会」を行った。

はじめに、観覧者が楽しめるよう吉住講さんが狂言について説明を行った。その後、野村扇丞さん、小笠原匡さんによる「伯母ヶ酒」と野村万蔵さん、吉住講さん、小笠原匡さんによる「萩大名」の二つの演目を演じていただいた。

ケチな酒屋の伯母さんから何とか酒を飲ませてもらおうとする甥や、太郎冠者の助けを受けながらも歌を覚えられずに四苦八苦する大名の様子がユーモラスに演じられ会場は笑いに包まれた。

その後に野村万蔵さんと宮崎園長によるトークショーを行い、狂言の魅力を語り合った。



(5) 新春寄席

日時：平成24年1月8日（日）13:30～15:00

場所：イベント広場 参加者数：約150名

内容：新しい年を迎え、普段、落語にふれる機会が少ない奄美の方々に落語を楽しんでいただくとともに、奄美パークをより身近に感じてもらえるよう新春イベントとして開催した。

三遊亭鬼丸さんの今回の奄美大島訪問での体験談や、「目薬」、「親子酒」、「勘定板」、「紙入れ」といった楽しい落語4本の披露に、会場はお客様の笑いの渦につつまれ、盛り上がった。



4 その他の自主・共催事業

(1) けんむんクイズラリー

日時：平成23年5月3日（火）10:00～16:00

場所：奄美の郷 参加者数：約80名

内容：奄美の文化や歴史に関するクイズをパーク内に設置して行う「けんむんクイズラリー」を行った。梅雨入りしたばかりで天候が悪かったが、ゴールデンウィーク初日で観光客や地元の客など多くの来園者が訪れ、親子でクイズラリーを楽しんでいた。



(2) 第1回奄美ケンムンふえすた

日時：平成23年8月21日（日）13:30～16:30

場所：イベント広場 参加者数：約200名

内容：奄美のケンムンを地域興しに活用するため、ケンムンのイラストコンテスト「ケンムン大賞」や実際にケンムンに会ったことのある方達を招いて体験談を聞くシンポジウムを中心にしたイベントをホライズン編集室と共同で行った。

会場内はケンムンにまつわる物の展示や近畿大学の学生によるTシャツづくりなどで賑わった。ケンムン大賞は奄美市在住の原口雄一さんのユーモラスなケンムンが受賞し、表彰式も行った。

また、ケンムン村による「ケンムン音頭」や濱田洋一郎と商工水産ズによる「Kingmoon」などケンムンを題材にした踊りや曲の披露、久志中学校の生徒によるケンムンの学習発表、奥光太郎さんのケンムンの紙芝居など楽しい演目があり、観客はそれぞれを楽しんだ。その後、ケンムン村村長の中山清美さんによる基調講演「ケンムンが語る奄美遺産」があり、その後、群島内からケンムンやそれに類似する妖怪に会ったという方の体験談を中心にしたシンポジウムを行った。観客はその生々しい体験談に聞き入っていた。

最後は、道の島交通のバスにケンムン大賞と各部門の最優秀賞の作品をラッピングして名入れをした。

当日は、パーク内に展示したケンムンイラストコンテスト応募作品355点を観るための来館者が1000人を越えた。



(3) 文化のちびっ子体験会

日時：平成23年11月3日（木）10:00～12:00, 13:30～16:00

場所：(ちびっ子体験会) 奄美の郷 萱葺き民家内

(けんむんクイズラリー) 奄美の郷及び田中一村記念美術館

内容： 観覧料が無料になる文化の日に奄美ならではのものに興味を持

ってもらふ機会として奄美パーク職員が指導者となり、主に小中学生を対象に、ナンコ体験、ゆびハブづくり、機織り、三線の体験教室「ちびっ子体験会」を行った。

また、併せて総合展示ホール及び田中一村記念美術館の展示物に興味を持ってもらふ機会として「けんむんクイズラリー」を行った。家族で展示を熱心に見ながら解答する姿も見られ、展示物を充分理解してもらえらる機会になった。

参加者数：(ちびっ子体験会) 約80名 (けんむんクイズラリー) 約40名



(4) 奄美パーク子どもクリスマス会

日時：平成23年12月18日（日）10:00～11:30, 14:00～15:30

場所：イベント広場

参加者数：(午前の部) 約1,500名, (午後の部) 約2,000名

内容： 地元のダンスグループ「ゲルドレン」による「マルマルモリモリ」のダンスとミスタードラゴンによる楽しいマジック、そして「ゲルドレン」のサンタさんが迷っているという演出を交えたダンスパフォーマンスで会場の子供たちも一体となり、ステージを楽しんだ。

大抽選会也大いに盛り上がり、子供たちの喜ぶ姿が見られた。



(5) 奄美パーク クリスマスコンサート

日時：平成23年12月25日（日）18:30～21:00

場所：イベント広場 参加者数：98名

内容： 島内では、普段聴く機会の少ないマリンバやフルートの生演奏によるコンサートを開催。併せてシマ唄やマジックショーも実施して参加者は食事をしながらの楽しい聖夜を過ごしていた。



Ⅳ 田中一村記念美術館企画事業

1 奄美関係作家展

(1) 田中一村記念美術館開館10周年記念「奄美を描く美術展」歴代受賞作品展

期間：平成23年4月24日（日）～5月5日（木）

場所：企画展示室

内容：奄美の文化振興、観光の発展に寄与することを目的とし、田中一村記念美術館開館10周年を記念して「奄美を描く美術展」の歴代受賞作品28点を展示した。

期間中の入館者数：1,964名



(2) 県美展奄美関連作家展及びオープニングフロアトーク

期間：平成23年6月11日（土）～7月3日（日）

（オープニングフロアトーク6月11日午前11時～）

場所：企画展示室

内容：第58回鹿児島県美展に出品された奄美群島在住の方々の作品を展示することで、奄美群島の作家を観光で訪れた方に紹介するとともに、奄美群島の芸術発展に資することを目的として開催した。

開催にあたり、田中一村記念美術館学芸専門員による作品紹介・解説、また出品された方々がそれぞれ自分の作品について説明等を行った。

洋画、日本画、写真35点を展示し、奄美のすばらしい海や自然などを様々な技法で絵画や写真を捉えた作品に多くの来館された方を魅了した。

期間中の入館者数：1,533名（オープニングフロアトーク19名）



(3) 久保井博彦展

期間：平成23年7月9日（土）～8月7日（日）

場所：企画展示室

内容：奄美を代表する画家、久保井博彦氏のデイゴやガジュマルをモチーフとした作品を9点展示。木々の力強さを表現した大作ばかりが揃った。その中でも、特に194cm×972cmの「鼓動」は瀬戸内町加計呂麻島の阿多地集落にある巨大なデイゴを鉛筆で描いたもので、圧倒的な存在感を放っていた。作品の持つ自然の生命力に、来館した誰もが魅了されていた。

期間中の入館者数：2,814名



(4) 三人の教員展及び作家フロアトーク

期間：平成23年8月13日（土）～9月4日（日）

（作家フロアトーク8月13日午前11時～安藤氏、小牟禮氏

8月27日午前11時～井上氏）

場所：企画展示室

内容： 教育者として学校教育に従事する傍ら、作家として精力的に制作活動を行っている3人の教員、安藤和久氏（赤木名中学校校長）・井上伸久氏（奄美高校美術教諭）・小牟禮雄一氏（大島高校美術教諭）の作品を32点展示。

制作に対するスタンスやテーマが違うそれぞれの作品は、訪れた観客を魅了し、作品世界の奥深くへと引き込んでいた。

フロアトークでは、三者それぞれが絵に興味を持ったきっかけや作品の制作過程など、作品に対する熱い思いを語った。

期間中の入場者数：2,574名（作家フロアトーク合計50名）



2 田中一村記念スケッチコンクール作品展

期間：平成23年9月17日（土）～10月2日（日）

場所：企画展示室

内容： 昨年度まで実施していた「新緑～紅葉スケッチコンクール」の内容を一新し、奄美群島の保育園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校を対象にした新しいスケッチコンクールを実施。その応募作品合計241点を入賞・入選・選外に分け、すべての作品を展示した。子どもたちが授業や夏休みに家庭で制作した作品は、色鮮やかで躍動感があり、来館した方々を楽しませていた。

期間中の入場者数：894名



3 田中一村記念美術館開館10周年記念特別企画展 ボクネン木版画展「風の島から」

期間：平成23年10月8日（土）～11月13日（日）

場所：企画展示室

内容： 田中一村記念美術館開館10周年記念特別企画展として沖縄の木版画家ボクネン（名嘉睦稔）氏の木版画展を開催した。ボクネン氏が独学で木版画の制作を始めた翌年の1988年から今年2011年までの作品、合計35点を展示。沖縄の自然や風景をテーマにした鮮やかな色彩の作品は来場者ひとりひとりの心を奪っていた。また、展示室の隅で繰り返し上映していたボクネン氏出演の映画「地球交響曲第4番」を長い間釘付けになって見ている人も見受けられた。

期間中の入場者数：3,911名



4 第10回記念奄美を描く美術展

期間：平成23年12月3日（土）～平成24年1月9日（月）

場所：企画展示室

内容：今年度で10回記念展となる奄美を描く美術展を開催。この美術展は全国の美術を愛好する方々が奄美を訪れ、奄美の風物や文化に接し、作品を発表する機会を提供するとともに、奄美の文化振興、観光の発展に寄与することを目的としている。

今回は記念大賞（賞金25万円）を新たに設けて全国から作品を募集し、合計142点の作品が集まった。

審査委員長の吹田文明氏（多摩美術大学名誉教授）からは「高校生から高齢者、そしてプロからアマチュアまでが一緒に挑み、そして、作品の内容も多様であった。高い技術により描かれた作品も多かった。その中で自由に思いを表現した作品に新鮮な感動を得た。最近、地方においては、運営上の厳しさから姿を消した公募展もある。その中であって、地域企業及び美術愛好家などの協力や期待、そして奄美の風土や田中一村を愛する思いを受けながら、10回を重ねてきたこの奄美を描く美術展は素晴らしく魅力的な美術展だと思う。今後も更に美術展と出品者のレベルが高まり、全国へ発信して行って欲しい。」という総評があった。

入賞14点、入選51点を展示。奄美の自然・文化・風物・イメージなどをテーマに描かれた作品を訪れた人々は熱心に鑑賞していた。

期間中の入場者数：2,573名



5 第10回記念奄美を描く美術展 巡回展

期間：平成24年1月13日（金）～1月18日（水）

場所：おきのえらぶ文化ホールあしびの郷・ちな（沖永良部島）

内容：巡回展は昨年度に続き2回目。本展の入賞、入選作に加え田中一村の絵（複製）5点を展示、島内各地から美術に関心のある人々が集まり作品を楽しく鑑賞していた。



「第10回記念 奄美を描く美術展」入選・入賞作品



奄美を描く美術展記念大賞

(奄美サンプラザホテル・サンデイズイン鹿児島賞)

「10月、奄美」

P10 油彩 ホワイトハウス雅子(イギリス)

みずみずしく清らかな色彩により、奄美のイメージを詩情豊かに表現している。

奄美を描く美術展大賞 (アマンデー賞)

「波を紡ぐ」 F15 油彩 井上伸久 (奄美市名瀬)

海と人物の交差から作者のイメージが伝わってくる。



田中一村記念美術館賞 (奄美空港ターミナルビル賞)

「夫婦又始マリヌパナシ」

F15 アクリル・ガッシュ 青木一也 (東京都)

自由な表現スタイルと鮮やかな色彩が魅力的である。

鹿児島県観光連盟賞 (Aグループ会長賞)

「命の詩」 F15 水彩 城間清西 (沖縄県)

洗練された高い技術で独自の世界を創り出している。





奄美群島観光連盟賞

「金作原生林にて」

F 15 油彩 会沢啓志（静岡県）

細密な描写と透明感のある色彩が美しい森を表現している。



佳作（奄美の海賞）

「I LOVE AMAMI “さんごの誕生”」

F 15 アクリル あかぎあけみ（奄美市笠利町）

デカルコマニーの表現技法を上手く生かし構図も面白い。



佳作（奄美の空賞）

「楽園のひと」

S 15 油彩 磯山秀夫（茨城県）

菱形の中心に女性を置き、静かで美しい世界をつくっている。

佳作（奄美の杜賞）

「ガジュマル」

F 15 油彩 中野長子（奄美市名瀬）

絵の具の盛り上げた様子に南国の木の生命の迫力を感じる。





ヤング賞（マリックスライン・里見海運賞）
「島の笑顔」

F 15 油彩 城間啓衣（奄美市名瀬）
高校生ながらに人物の特徴を掴み丁寧に表現している。



シルバー賞（奄美ツーリストサービス）
「時の流れを越えて」

F 15 油彩 永芳弘子（福岡県）
壺に南の花を挿し、幻想的な空間を創り出している。



奨励賞
「もうひとつの芭蕉」

F 15 油彩 師玉アツミ（奄美市名瀬）



奨励賞
「太古の記憶」

F 15 油彩 中村哲郎（奄美市名瀬）



奨励賞
「瀑布に翔ぶ（アランガチの滝）」

F 15 日本画 俊 悦治（千葉県）



奨励賞
「深ごもり」

F 15 油彩 大江弘治（奄美市名瀬）

6 その他企画展

(1) 奄美フォトクラブ会員展

期間：平成23年3月20日（日）～4月17日（日）

場所：企画展示室

内容：奄美大島で活動するグループ“奄美フォトクラブ”による作品展を開催。奄美の四季折々の自然風景、祭りのエネルギー、日々の暮らし等を題材とした会員20名の写真を40点（オールカラー）展示した。

期間中の入場者数：1, 850名

(2) Sixth sense 主体美術協会会員による絵画展

期間：平成23年5月10日（火）～5月25日（水）

場所：企画展示室

内容：奄美市笠利町出身の主体美術協会会員が声をかけ、会員11名のグループによる絵画展を開催した。具象細密画を中心に絵画43点を展示。写真と見間違ふ作品や大作まであり、観覧に来られた方誰もが心を奪われていた。

期間中の入館者数：1, 374名



(3) 奄美市笠利地区小・中学校図画工作・美術学習発表展

期間：平成24年1月29日（日）～2月12日（日）

場所：企画展示室

内容：日常の学校教育活動を活かした美術館の活用という視点から、教育普及活動の一環として、奄美市笠利地区の小・中学校10校の児童生徒の作品を展示した。

絵画、デザイン、版画、書道、作文、立体アート等展示内容は各学校によって様々で、子どもの作品を見ようと家族で鑑賞に訪れる方々が多く見受けられた。また、近くの学校の児童生徒や保育園児らが遠足で来館し、にぎやかに鑑賞していた。

期間中の入館者数：1, 814名



(4) 第3回大高芸術祭

期間：平成24年3月3日（土）～3月18日（日）

場所：企画展示室

内容：今年で3回目となる大高芸術祭を開催。鹿児島県立大島高等学校美術部の作品23点と書道部の作品15点の合計38点を展示。初日の3月3日（土）13時からオープニングセレモニーをエントランスで開催し、展示会のスタートを切った。また、同日14時から吹奏楽部36人によるミニコンサートも開催。

「ヘビーローテーション」や「ミッキーマウスマーチ」などを披露し、保護者や一般客など来場した多くの方々を楽しませた。鑑賞に訪れた方は「高校生とは思えないほど上手に描けている」と話していた。

期間中の入館者数：2, 214名

7 その他

(1) 夏休み親子スケッチ大会

日時：平成23年7月24日（日）10:00～15:00

場所：奄美パーク内 参加者数：21名

内容： 赤木名中学校他4校で非常勤講師を務める赤木明実先生の指導を受けながら、幼児から中学2年生までの参加者21名が、パーク内でスケッチを行った。初めて水彩絵の具を使う幼児や、子どもに負けじと隣で絵筆をふるう保護者の姿もあった。

また、昨年に引き続き参加した人や、千葉から祖父母の家に遊びに来ていた姉弟もいた。暑い中ではあったが、参加者たちはパーク内の植物や風景を思い思いにスケッチし、楽しい時間を過ごしていた。

終わりの講評で、赤木先生から出来栄を褒められ、参加者はみな嬉しそうな表情を見せていた。



(2) 夏休み親子ワークショップ

日時：平成23年8月21日（日）10:00～15:00

場所：田中一村記念美術館 管理棟 参加人数：19名

内容： 赤木名中学校他4校で非常勤講師を務める赤木明実先生と当館学芸専門員の堀脇が講師を務め、子どもたちと保護者の合計19名が紙版画を使った作品作りに挑戦した。チラシや新聞紙をちぎったり丸めたり、自由な形にして土台となる厚紙に貼り付け、プレス機で版にした後、好きな色を塗り、それを画用紙で押さえて色を写し取り、作品を仕上げるという内容。参加した子ども達は、自由に鳥や魚の形を作ったり、色を塗ったりして楽しそうに作品を完成させていた。

また、親子で参加した方たちは、作品について話したり、一緒にプレス機をまわしたり、コミュニケーションをとりながら楽しい時間を過ごしていた。



(3) 創作体験教室（人物画講座Ⅰ）

日時：平成23年9月10日（土）10:00～16:00

場所：企画展示室 参加者数：14名

内容： 前畑省三先生（鹿児島女子短期大学名誉教授，独立美術協会会員，鹿児島県美術協会前会長）を講師に招き，創作体験教室（人物画講座Ⅰ）を開催した。

名瀬美術協会会員の方を中心に14名が参加し，女性モデルを前にそれぞれの手法でデッサン画を描き上げた。参加者は皆熱心にモデルの容姿や表情を観察しながらキャンパスに向かい，会場は張り詰めた雰囲気が流れていた。

最後には参加者それぞれが描き上げた作品を一堂にならべ，前畑先生が解説や指導を行った。



（４）創作体験教室（人物画講座Ⅱ）

期間：平成２４年２月１８日（土）～２月１９日（日）

場所：企画展示室

内容： 地域の文化芸術の振興や芸術への理解を深めることを目的として、今年度２度目となる人物画講座を開催した。講師に西健吉先生（二科会鹿児島支部長・鹿児島県美術協会会員）をお招きし、女性をモデルにクロッキーやデッサンを行った後、油彩や水彩で人物画を完成させた。

受講生の１人は「先生に全体のバランスやポーズの取り方を的確にアドバイスしてもらい、参加者の様々な作品も参考になった。今後の作品制作のヒントがつかめた」と満足そうに話していた。

参加者：（１８日）１３名，（１９日）９名



V 各種イベントポスター

あまみっ子フェスタ

日時：5月4日(水) 13時30分～
場所：奄美パーク 出会いの広場
(雨天時はイベント広場)
入場 無料
ご来場の子ども全員に
プレゼントがあるよ！
ゴールデンウィークは家族みんなでいも～れ！

プログラム

- ☆アマンデー本館(節田小学校)
- ☆お笑い曲芸ショー(ハンガーマン)
- ☆親子手作り教室(奄美手熟師会)
- ☆広場で遊ぼう(奄美市レクリエーション協会)
- ☆緑化フェア記念植樹
- ☆あそびうた (あそびうたサークル「はすてる」)

奄美パーク 電話 0997-55-2333
FAX 0997-55-2612
奄美市笠利町節田1834 <http://www.amamipark.com/>

第5回 わらベシマ唄大会

平成23年5月5日(木) AM10:00～

出場者募集中
4月25日(月) 締切

小学生低学年の部
小学生高学年の部
中学生の部

賞状・記念品あります♪
参加者全員にプレゼントあり

5月3日(火) けんむん
クイズラリー

5月4日(水) あまみっ子
フェスタ

奄美パーク 入場無料
笠利町節田1834
電話 0997-55-2333
FAX 0997-55-2612
<http://www.amamipark.com/>

奄美の郷 ライフステージ

ごいまーじんま!!

平成23年 5月22日(日) 午後1時30分～
奄美パーク 屋内イベント広場

島らちや会
島らちや会・わらべあそび会が！
忘年かたがと集まる会

奄美パーク 電話 0997-55-2333
FAX 0997-55-2612
<http://www.amamipark.com/>

奄美の郷 ライフステージ

汝きや我きや島唄しよーるへ
龍郷町島唄保存会

入場 無料

日時：平成23年6月19日(日)
午後1時30分～3時30分
場所：奄美パーク屋内イベント広場
内容：龍郷町を拠点に活躍する唄者の島唄披露

奄美パーク 電話 0997-55-2333
FAX 0997-55-2612
奄美市笠利町節田1834 <http://www.amamipark.com/>

1/17(日)～8/31(水)

ネリヤカナヤフェスタ

オープニングイベント

7/17(日) 13:30～15:30
伊達館小学校さざなみ広場
笠利ジャンベクラブ
フラカオスタジアム

わらベシマ唄大会歴代受賞者
(橋田 莉子・住 姫乃・平田 まり奴)

7/23(土) 13:30～15:30
親子手作り教室
～ハワイアンシネマ～

参加費無料
定員30名
★要予約

8/14(日) 13:30～15:30
サマーコンサート

8/21(日) 13:30～15:30
夏休み親子ワークショップ
参加費無料 定員20名★要予約

7/24(日) 10:00～15:00
夏休み親子スケッチ大会

〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田1834
TEL 0997-55-2333 FAX 0997-55-2612
HP <http://www.amamipark.com/> BLOG <http://blog125.amamipark.jp/>

サマーコンサート

日時：平成23年8月14日(日) 13:30～
場所：奄美パーク屋内イベント広場 入場無料

鹿児島県民会
奄美市民会
奄美市立音楽会
奄美市立児童合唱団
奄美市立児童管弦楽団
奄美市立児童舞踊団
奄美市立児童劇団
奄美市立児童音楽隊
奄美市立児童合唱団
奄美市立児童管弦楽団
奄美市立児童舞踊団
奄美市立児童劇団
奄美市立児童音楽隊

奄美パーク 電話 0997-55-2333
FAX 0997-55-2612
奄美市笠利町節田1834 <http://www.amamipark.com/>

奄美の郷 ライフステージ

南風(ハエ) にゆらおう

平成23年9月19日(月) 敬老の日
13:30～15:30
屋内イベント広場 入場無料

玉城琉球扇山元孝子琉舞道場

大島高等学校
新体操部

築地 俊造

当日 敬老の日 は65歳以上の方 有料ゾーンを半額で観覧頂けます。

〒894-0504 奄美市笠利町節田1834 TEL 0997-55-2333 FAX 0997-55-2612
HP <http://www.amamipark.com/> BLOG <http://blog125.amamipark.jp/>

奄美パーク・田中一村記念美術館
開園10周年記念イベント

～お隣館で奄美パークは開園10周年～
今後ともさらなるお引き立てを宜しくお願いします

10/8(土)
○ライブステージ 10:00～
鹿野町ナツメ公園野合・奄美パーク体操隊
○琉舞(山元孝子琉舞道場) 13:30～
○各館観覧トークショー 14:00～

10/9(日)
○記念式典 13:30～
本館・南風・祝典
奄美パーク10年の歩み上映など
○池上彰講演会 14:00～
「日本の復興を歴史から考える」
○扇唄(築地俊造) 15:30～

10/30(日)
○狂言会(野村万蔵) 15:30～

10/8(土)～11/18(日)
田中一村記念美術館特別展
○各館観覧本画展「風の島から」

上記イベントの観覧はすべて無料!!
10月8日以降の無料ゾーンへは
入場チケット購入者には、
毎日先着50名様に限り無料で記念品プレゼント!!

奄美パーク 電話 0997-55-2333
FAX 0997-55-2612
奄美市笠利町節田1834 <http://www.amamipark.com/>

奄美パーク開園
10周年記念講演会

日時：平成23年10月9日(日)
午後2時～(入場無料)
会場：奄美パーク屋内イベント広場

講師：池上 彰氏

演題「日本の復興を歴史から考える」
1950年代前半生まれ。鹿児島県立大学卒業。73年にNHKに入社。94年より13年間担当したNHK「国史」番組「こころのふるさと」で知られ、2005年3月にNHKを退社し、現在はフリージャーナリストとして多方面で活躍中。

奄美パーク 電話 0997-55-2333
FAX 0997-55-2612
奄美市笠利町節田1834 <http://www.amamipark.com/>

VI 奄美パーク応援隊について

(1) 結成目的

鹿児島県奄美パークの活動を支援することにより、魅力ある奄美パーク実現の一助とし、ひいては奄美群島の観光の発展に役立てる。

(2) 隊員数

54名（平成24年3月31日現在）

(3) 年間活動回数（延数）

68回（平成24年3月31日現在）

(4) 活動内容

奄美パーク応援隊は奄美パーク内のガイドをすることを目的として平成15年に発足した。

現在、展示案内ガイド、手熟ガイド、園芸サポーター、一村サポーターという4つの分科会で構成され、それぞれ得意な分野で活動しているが、このうち展示案内ガイドのみ研修が義務づけられている。（今年度は都合により一村サポーターは休止した。）

隊員には登録証を発行し、年2回以上の活動を義務づけている。なお、登録証は奄美パークのフリーパスになっており、応援隊の活動時以外にも提示すれば、奄美パークの有料ゾーンに入ることができる。

月に一度配付する「応援隊通信」には活動の予定や奄美パークの行事予定、活動報告などを掲載している。ブログ等で随時活動の様子を報告している。

(5) 分科会

ア 展示案内ガイド

奄美の歴史や文化、自然、島の暮らし、観光ポイントなどの紹介。田中一村記念美術館における鑑賞のポイントを案内する。（10名）

イ 手熟ガイド

機織り、三味線、太鼓、ナンコ、ソテツ編み等、島に伝わる遊びやモノ作りを通して島の紹介をする。（25名）

ウ 園芸サポーター

奄美パーク園地の植物を管理する。（20名）

エ 一村サポーター

田中一村記念美術館の企画・展示をサポートする。（平成23年度は休止）

（６）活動内容・実績

ア 展示案内ガイド

月に一度、隊員に来園状況予定表（団体の予約状況）を送付し、来園が可能な日にガイドを行った
り、時間のあるときに来園して個人のお客様を案内している。

また、団体のお客様からガイドの要望があった時などにも対応している。

イ 手熟ガイド

各隊員がそれぞれ来園できる日に来て、実演してもらっている。また、予約団体の要望があった場
合は、できる限り対応している。現在、三味線など島唄関係の手熟ガイドが多数。

ウ 園芸サポーター

主に奄美パーク園地への植栽を中心に活動している。月に１回または２回の作業日を設けて園内の
整備をした。今年度も昨年に引き続き「花かごしま２０１１」の協賛会場である出合いの広場を中心
に草取りなどを行った。また、応援隊の花壇には様々な植物を植栽し、レストランから見える花壇に
はたくさんの花が咲き、お客様から好評であった。

エ 一村サポーター（平成２３年度は都合により休止した。）

オ その他の活動

（１）応援隊しまうた倶楽部

平成１８年の１０月からしまうた倶楽部を立ち上げ活動を始めた。月に２回練習を行っていたが、
参加者が少ないために現在休止している。

（２）六調三線の練習

平成２３年の３月から有志が集まり、六調三線を練習している。奄美パークのイベントへの参加や、
団体の見送りなどで練習の成果を披露するなど、様々な場面で活躍している。

（３）展示案内ガイドデモ

展示案内ガイドデモはガイドに慣れていない隊員のため、ベテランのガイドや職員と一緒に随行案
内をし、ガイドに慣れてもらうことを目的に行っている。

鹿児島県奄美パーク事業報告書

リ ー フ

第 10 号

2012年5月発行

編集・発行 奄美群島広域事務組合

（鹿児島県奄美パーク）

〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田 1834

TEL 0997-55-2333 FAX 0997-55-2612

鹿児島県 奄美パーク

奄美の郷・田中一村記念美術館

鹿児島県奄美市笠利町節田 1 8 3 4

T E L : 0997-55-2333 <http://www.amamipark.com/>